

かしわの木

幼稚園通信

令和5年11月10日

小学校への円滑な接続を願って

園長 片桐 由博

先日、年長児は駒場小学校の1年生と交流会を行いました。この3年間はコロナのために実施出来なかった交流会です。本園では以前から駒場小学校との交流を行っていましたが、5年前に改訂された幼稚園教育要領で、幼児期の教育は小学校以降の生活や学習の基盤となり、さらには、小学校学習指導要領の総則にも、幼児教育をしっかりと踏まえて小学校教育につなげることの大切さが強調されました。そこで、お互いの様子を少しでも知る機会として交流会を実施しています。今年は7月に駒場小学校へ行って交流をし、少しではありますが小学校の雰囲気を感じてきました。今回は逆に幼稚園へ来ていただき、幼稚園ではこんなことをやっていることを知ってもらうことができました。次回は小学2年生の生活科の学習に参加してきます。

皆様もご存じのことですが、先月26日に長年本園で飼われていたうさぎの「あんじえ」が天国へ旅立ちました。皆様に最後のお別れをしていただきありがとうございました。あんじえは当時本園の在園児の家で飼っていたうさぎでしたが、家で飼うことができなくなったということで園で飼うことになったそうです。本園に来て7年くらい、さらにはその前に家で4年くらい飼っていたという話ですから、10年を超える年月を生きたようです。動物病院へ治療に行った時に貼っていたポスターに「うさぎは7年で人間でいう60歳」とありました。そう考えると90歳を超えていたのかな。

子どもたちにとってもいつもいてくれた「あんじえ」でした。避難訓練で避難した後、「あんじえはどうなるの?」「大丈夫、先生が最後に連れて行くから」こんなこともありました。子どもながらに命あることや動物独自の動き、温もりも知りました。絵本で見るだけでなく、触れ合う経験もできました。年長の子どもたちと年中の子どもが、すぐに手紙と絵をかいて持ってきてくれました。

あんじえへ

いつもようちえんでまってくれてありがとう。だいすきだよ。てんごくでげんきだね。 年長さんみんなからの手紙

あんじえへ

いつもようちえんにいてくれてありがとう。もうあんじえ おそらにかえっちゃうけどね。ばいばいあんじえ。 年中さんの園児の手紙

あんじえはこれからもお空の上から、みんなのことを見えていますよ。